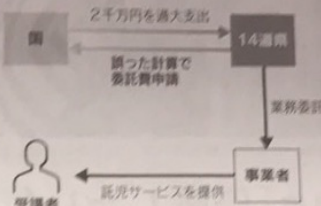


再就職支援の託児委託費 14道県が過大受給

再就職支援事業の託児サービスを通る 過大支出の傾向



再就職支援事業の託児サービスを通る過大支出の傾向。国は2千万円を過大支出し、14道県は行った計算で委託費申請し、事業者は託児サービスを提供し、受講者が受給する。

再就職支援事業の託児サービスを通る過大支出の傾向。国は2千万円を過大支出し、14道県は行った計算で委託費申請し、事業者は託児サービスを提供し、受講者が受給する。

道路陥没、周辺にも緩み

東京・調布の地盤 工事振動原因か

東京外苑通状道路(外環)の亀裂の被害が出て、周辺のトネル工事現場として「非常に不安定な状態。早急な地盤の補修が必要だ」と話している。工事する東日本高速道路により、真上の地盤陥没、補修予定。隣接地では緩みはないと認識されている。調査結果を明らかにした。工事の振動が原因とみられ、地盤沈下による家

厚労省は各都道府県に利用者と同等の待遇で支払うとの見地。変更その結果、改正前の計算方法で算出したほうが高くなった。14道県は計算方法が変わったことと認識がなかったとみられ、申請額が過大となった。他の自治体は改めて、申請額が過大とな

調布小型機墜落 遺族が逆転敗訴

東京高裁 2015年、東京都調布市の自宅に墜落直後の小型機が墜落し、長女小木希望さん(当時12)

報告書で、小型機が最大離陸重量を約5%超過し、失速しなかった可能性を指摘。一審、東京地裁は墜落はほろぼれに陥ったと判断を示したが、高裁の八木洋裁判長は、事故機の担当整備士の陳述書などから「重量超過の状態であったとは認められない」と、報告書の内容を否定した。

成立の乗換率制度改革を適用。1票の格差は最大1.98倍に縮小し、許容の目安とされる2倍を下回った。最高裁は18年の判決で「これは是正措置を評価し17年乗換率を「合意」と判断した。

第5801回 全国自治体バス抽せん結果 (18日) 【ナンバーズ3】

04	06	13
16	FREE	23
30	31	37

1等 7,294,900円(3口)
2等 307,400円(58口)
3等 40,900円(196口)
4等 22,900円(568口)
5等 3,100円(3756口)
6等 700円(22875口)

3歳児に熱湯 殺人罪で起訴

母親の交際相手 大府市児童福祉センターで8月、男児(3)が熱湯を注がられ死亡した事件で、大府地検は13日、母親と交際相手(24)を殺人罪で起訴した。

7月、祖父が児童福祉センターで5人を殺傷したとして殺人未遂などとして起訴された。母親と交際相手(24)は、13日、神戸地検が本部長官に「起訴」を求め、起訴された。

1票の格差「是正早く」

きょう解散 有権者に不満なお

14日の衆院解散を受け実施される総選挙で、人口の多い選挙区の1票の価値が低くなる「一票の格差」問題が改めて浮上している。2020年国勢調査(速報値)を基にした20選挙区で人口最少区との格差が4倍を超えたが、31日解散予定の今国会は議員数が間に合わなかった。有権者からは早期修正を求める声が上がっている。

20年国勢調査を基に人口最少選挙区との比較

選挙区	格差(倍)
12区	2.094
19区	2.064
13区	2.051
18区	2.050
13区	2.041
6区	2.040
10区	2.038
12区	2.033
4区	2.032
110区	2.022

「合意」と判断した。同じ区割りで実施される今回の衆院選で格差が開いたのは、4年間の人口移動によるもの。新型コロナウイルスの影響で地方への移住も増えているが、東京都は20年に3万1千人の転入超過

大府市児童福祉センターで8月、男児(3)が熱湯を注がられ死亡した事件で、大府地検は13日、母親と交際相手(24)を殺人罪で起訴した。

7月、祖父が児童福祉センターで5人を殺傷したとして殺人未遂などとして起訴された。母親と交際相手(24)は、13日、神戸地検が本部長官に「起訴」を求め、起訴された。